

事業番号	事務事業名	防犯灯設置助成金		所管課名	くらし安全課	令和 3 年度課長名	小原 克則
00605	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	可児 勉
	施策名	42	交通安全・生活安全対策の推進	根拠法令等	岡山県犯罪のない安全・安心まちづくり条例 鏡野町防犯施設設置補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事務事業の内容) 町内の路上における防犯対策を町民と共同して行うために、防犯灯の設置に補助金を交付する。 (業務の内容) 区長より防犯灯設置についての補助金交付申請を受理し、補助金を交付する。(限度額 LED1基につき25,000円、白熱球1基につき15,000円)	生徒通学路等において、犯罪の減少を目的として事業を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内会	ア 町内会数	地区	見込 実績	93 93	93 93	93 93	93	93
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 防犯灯を設置することにより、犯罪件数を減少させる	ア 町内の犯罪発生件数	件	目標 実績 達成率	45 21 46.7%	40 19 47.5%	27 18 66.7%	24	24 75.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 区長申請のあった防犯上必要な箇所の防犯灯設置に対する補助	ア 設置数	基	目標 実績 達成率	30 31 103.3%	30 32 106.7%	30 16 53.3%	30	30 53.3%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 11		大事業 中事業 02 01					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		防犯対策費		防犯灯設置助成金					
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	750	750	750	750	750		一般財源	736	715	377	750	750	-338	
合計	750	750	750	750	750		合計(A)	736	715	377	750	750	-338	
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						50	50	30	50	50		-20	
	人件費計(千円)(B)						175	167	101	171	171		-67	
	最終予算額		750 千円		予算執行率		50.2%	トータルコスト(A+B)		911	882	478	921	921
主な 支出事業内容 (予 算)	補助金					750 千円	主な 支出事業内容 (決 算)	補助金					377 千円	

事業番号	00605	事務事業名	防犯灯設置助成金	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	----------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
鏡野町の犯罪発生件数は平成29年以降減少が続いており、鏡野町だけでなく県内全体で犯罪件数は減少傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
一部の地区が独占ないように、一度の申請では3基までを原則としている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
一度の申請で3基までの枠としているが、計画的に申請がなされておりそれ以上の要望はなかった。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 防犯灯の設置により、防犯及び町民の安心につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 地元負担のみでは費用がかかり、設置が困難な地域もあり妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 区長からの申請による補助のため適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 設置業者により費用が異なることから、現状制度が適切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 蛍光灯の防犯灯も残っている状況であるので、廃止の影響は大きい。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 補助の交付事務なので改善は難しい。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 防犯カメラ付きの防犯灯を設置する区もあり、重要性は更に増しているので削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 必要最低限の人員で事務をしており削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 一律の額に設定しており、公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業が、地域の安全・安心に貢献しており、重要は更に高まっている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 申請が多い地区が独占してしまわないよう調整する必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
申請の多い地区により詳細な計画を確認し、地区ごと調整する必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							